

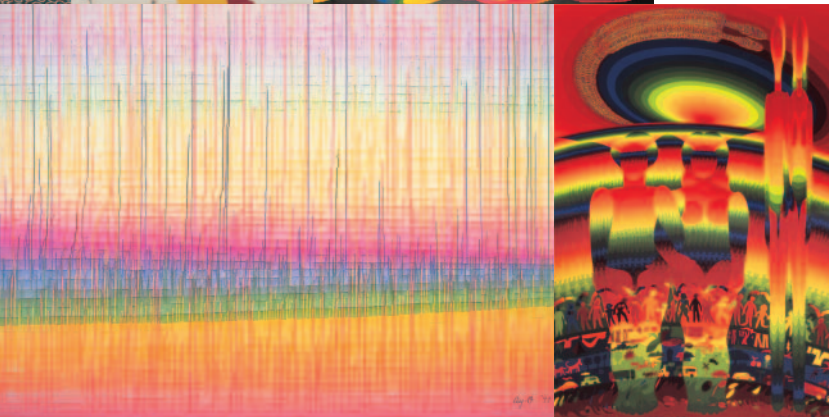
だ美
よ術
り館

contents

虹のかなたに 豊鳴AY-O回顧1950-2006	[2~4]
福井県立美術館 ボランティアの会10周年	[5]
平成18年度 福井県立美術館実技講座受講生募集要項	[6]
福井県立美術館 友の会 平成18年度会員募集	[7]
福井県立美術館ボランティア会員募集	[7]
お知らせ・貸館情報	[8]
日本まんなか共和国	[8]

〈表紙: 豊鳴 “300メートル レインボー・エッフェル塔イベント”(パリ) ©Kenji Mizuyachi〉





虹のかなたに 鬚嘔AY-O回顧1950-2006

3月1日(水)～3月30日(木)

休館日:3月6日(月)・13日(月)

開館時間:午前9時～午後5時 ※入館は午後4時30分まで

入場料:一般800円・大高生500円・中小生300円
(30名以上の団体は2割引)

主催:福井県立美術館

共催:福井新聞社

協力:株式会社フジカルチャープランニング

event

[イベント・福井フルクサス(鬚嘔、ユーゲン・オーブリッヒ、その他)]

- 日 時:3月11日(土) 午後1時～
場 所:福井県立美術館→大野市・誓念寺
- 日 時:3月12日(日) 午後2時～
場 所:福井県立美術館

gallery talk

[ギャラリー・トーク(鬚嘔)]

- 日 時:3月19日(日)・21日(火・祝) 午後2時～
- 場 所:福井県立美術館

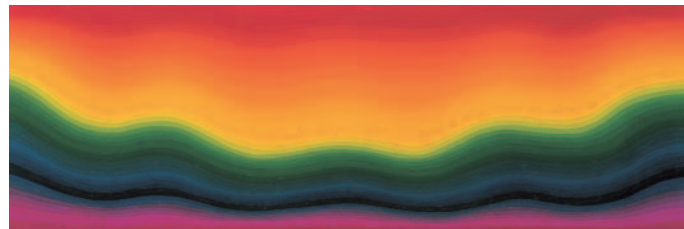
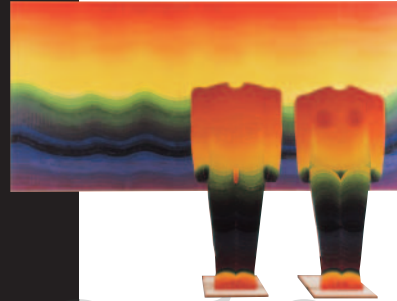
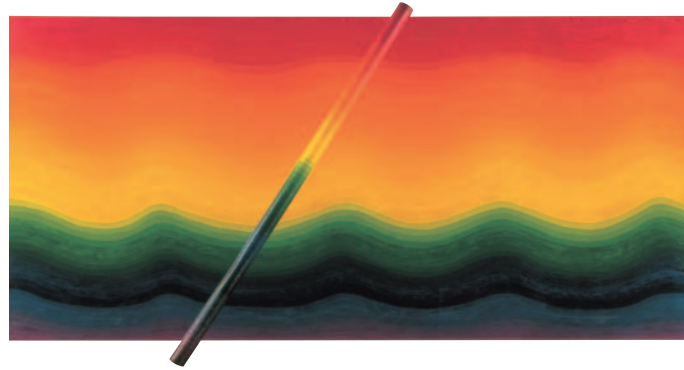
[ギャラリー・トーク(学芸員)]

- 日 時:3月5日(日)・26日(日) 午後2時～
- 場 所:福井県立美術館

観覧券が
必要です



“虹”の作家として国際的に知られる鬚嘔の全貌を紹介する国内初の大回顧展を開催します。本展では、デモクラート美術家協会時代の油彩画や渡米後のアクション・ペインティング、エンヴァイラメント、フルクサス時代のパフォーマンス等、彼の創作の全軌跡を紹介するとともに、創造美育や小コレクター運動等、彼の原点ともいえる活動とそれらに深くかかわってきた福井との関係を検証し、鬚嘔の魅力に迫ります。



1950-2006

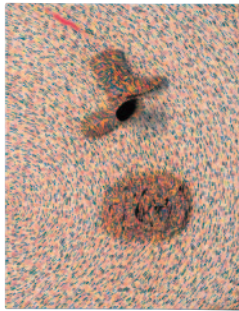
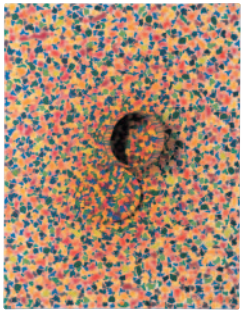
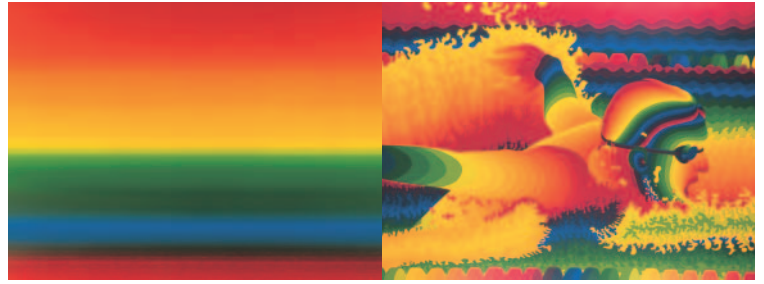


1	2	3	4	5	6	7	
				9	10		
8				11	12		
13	14			15	15	15	15
16	17			18	19		

- (1). 悲劇よりもより悲痛なるものの静寂 B [1953] 宮崎県立美術館蔵 (2). 悲劇よりもより悲痛なるものの静寂 4 [1953] 宮崎県立美術館蔵 (3). 悲劇よりもより悲痛なるものの静寂 7 [1953] 宮崎県立美術館蔵 (4). 若い仲間たち [1954] 千葉市美術館蔵 (5). 田園 [1956] 東京都現代美術館蔵 (6). ヘルカ'鳴る [1957] 宮崎県立美術館蔵 (7). 田園・点描 [1962~63] 千葉市美術館蔵 (8). Rainbow Environment (Rainbow Landscape) A [1964] 富山県立近代美術館蔵 (9). Rainbow Environment (Rainbow Landscape) B [1964] 茨城県立近代美術館蔵 (10). Rainbow Environment (Rainbow Landscape) C & 男女の人型 [1964] 東京都現代美術館蔵 (11). Rainbow Environment (Rainbow Landscape) D [1964] 目黒区美術館蔵 (12). Venus of Milo [1966] 大阪市近代美術館蔵 (13). レインボーナイト [1971] 池田20世紀美術館蔵 (14). アダムとイブ [1967~71] 東京都現代美術館蔵 (15). CHIBA (CLOUDS/HEARTS/INSECTS/BIRDS/ANGELES) [1975] 千葉県立美術館蔵 (16). Rainbow Rain [1977] 愛媛県立美術館蔵 (17). 21世紀への接近 [1979] 豊田市美術館蔵 (18). ON THE WAY B [1982] 彫刻の森美術館蔵 (19). ON THE WAY C [1982] 彫刻の森美術館蔵

20	21
22	
23	
24	25
26	

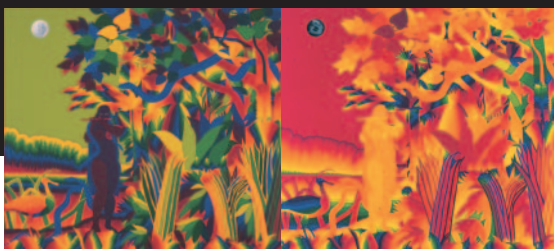
- (20). 192 Gradation Rainbow [1985] 高松市立美術館蔵
- (21). バタフライ [1988] 大分市美術館蔵
- (22). inner rainbow work I~O (zero) [1989] 宮崎県立美術館
- (23). レインボーツリー [1992] 宮崎県立美術館蔵
- (24). 虹使い A [1992] 宮崎県立美術館蔵
- (25). 虹使い B [1992] 宮崎県立美術館蔵
- (26). a letter to my dear EiQ III [1998] 宮崎県立美術館蔵



note. 〈鬚嘔 回顧'50-'05〉

20才代初め、生涯だれも経験したことのない世界の中だけを歩こうと決心した。そしてデモクラート時代、ニューヨークでの手始めのエンヴァイラメント（環境芸術）、その結果触覚の作品を創造し、そんな仲間が集まりフルクススとなりイヴェントという行為へ、更に40年間虹の作品を創りつづけ、そして最近はいろいろな身の廻りの物をぶら下げたり壁につけたり作品を創り、オブジェクトについて考えることにこだわって今に至った。生きているぼくの回顧展を今度開いて下さるといふ。助けた亀に連れられてブラックホールの竜宮城から帰った浦島は玉手箱の煙によってしらがの老人になるのだが、能狂言では美少年に変身するのです。ぼくはこの結末が大好きです。

Dec. 10 '05 鬚嘔





韓国の作家イク=ジュン・カン作品「ハッピー・レリーフ」8000点を展示。(平成10年)



県立美術館とともに主催した「びっくりぎょうてん！紙わざの世界展」を終えて。(平成17年)



子ども向けワークショップで折り紙のバラを教える。(平成17年)

福井県立美術館が募集を行い、ボランティアの会が立ちあがってから10年。これだけ長期に渡ってボランティア活動が続けられ、しかも自主運営の形で積極的な活動がなされているのは全国的にも非常に珍しい例といえます。そしていまや福井県立美術館に欠かせない存在となったボランティアの会の活動をご紹介します。

- ①美術と美術館に積極的な関心のある人
- ②高校生以上
- ③月2回以上ボランティア活動に参加できること
- ④ボランティア育成講座を受講すること

この4つが平成7年にボランティアの要件として募集されました。よって描くのが好きな人から、とにかく美術館が好きという人まで多岐にわたって集まり、ボランティア活動がスタートしたのです。

ボランティアの活動のなかでも花形は展示の解説です。これは平成12年に解説ボランティア研修講座というものが開始され、数十回に渡る美術館学芸員からのレクチャーを受けて、平成15年に活動を始めたものです。大勢に向かったのギャラリートークという形で

はなく、聞きたいとおっしゃる方と一緒に回り、その方の興味のあるものを説明するという非常にフレンドリーな解説活動となっています。毎月の勉強会、企画展の鑑賞等でさらに知識と技術を磨き、1期生11人に加えて現在2期生がデビューを真近に控えています。

それまで灯りのとっていないインフォメーションカウンターに、灯りが

福井県立美術館 ボランティアの会 10周年

つくようになったのはボランティア活動が始まってからです。かつて誰もいなかったそのカウンターには、今や展示内容や他美術館の情報、地図などの資料をあらかじめ用意して、笑顔で様々な情報提供をしてくれる頼もしいボランティアがいるのです。

外には見えないので一見地味ですが、図書整理もはずせません。館外から毎日のようにくる展覧会案内、カタログなどはちょっと気を抜くだけで山をな

します。そんなとき「図書整理来ましたー」と楽しそうに入ってきて、その山を切り崩し、データベース登録までして、「終わったので帰りますー」と軽やかに去っていくその手際のよさは本当に賞賛に値します。

会場監視はただで観れていいなと思われがちですが、1時間ひたすら座っているのは眠気を誘うものです。よってさまざまな工夫がされています。

其の音：好きな絵だったらそれを観る。其の式：鑑賞している人を鑑賞する。

つまり人間ウオッチング。

其の参：たまに立ちあがる。

…などなど。そのほかにも作品を守るため温度設定が低い展示の時は、ここぞとばかりに完全防備で備えているそうです。

また、会場監視は観覧者からの反応も一番ダイレクトに伝わるところでもあり、楽しいエピソードにも事欠きません。激しい表現の現代作家の展示の時、「あんたらここにずっと座っていて気持ち悪くならんのか?」と思わず心配になった観覧者から声を掛けられたこともあったそうです。

これらはほんの一部で、活動は多種多様にわたっています。10周年という節目の年を迎え、今度は15周年を目指して、福井県立美術館ボランティアの会はますます躍進していくのです。



展示会場を飾るために花の風車を250本制作。(平成17年)



福井駅で「アフリカのストリートアート展」のテレビ宣伝(平成15年)



親子美術講座で石膏型取りの補助。(平成9年)

平成18年度 福井県立美術館実技講座受講生募集要項

講座科目	基礎講座			専門講座		
	日本画講座	洋画講座	彫刻講座	日本画講座	洋画講座	彫刻講座
指導講師 (講座定員)	塩出 周子 (20人)	坂井 敏之 (30人)	古市 貴代 (10人)	湯浅 満 塩出 周子 (20人)	小原 勉 荒木 道之 (30人)	池田 雅彦 (10人)
講座会場	県立美術館 実技研修棟			県立美術館 実技研修棟		
講座期間	平成18年4月1日～6月17日(土曜日) 延10回			平成18年7月1日～平成19年1月27日(土曜日) 延25回		
講座時間	13時30分～16時30分			13時30分～16時30分		
対象者	○ 作品制作の初歩的な基礎を学ぼうとする者			○ 作品制作の経験があり、さらに専門的に学ぼうとする者 ○ 基礎講座を受講経験した者		
受講料	7,500円			19,000円		
材料費	受講生実費負担			受講生実費負担		
講座日	平成18年 4月 1日・8日・15日・22日 5月 6日・13日・27日 6月 3日・10日・17日			平成18年 7月 1日・8日・15日・22日・29日 8月 5日 9月 2日・9日・16日・23日・30日 10月 7日・14日・21日・28日 11月 11日・18日・25日 12月 2日・9日・16日・23日 平成19年 1月 13日・20日・27日		
募集期間	平成18年 3月1日(水)～3月20日(月)			平成18年 5月1日(月)～5月31日(水)		

【応募方法】

- 必ず**官製はがき(往復はがき)**を使用し、右記の所定事項を記入の上、投函してください。
- 記入は、楷書で明確にお願いします。
- 電話による応募の受付はいたしません。

【応募条件】

- 16歳以上で県内に居住する者、県内に在学する者および勤務する者。
- 受講歴1回以下の者。

【応募者の決定】

- 応募者が定員を超えた場合は、抽選により決定します。(新規応募者優先/結果は、締め切り後10日以内に連絡します。)

問い合わせ先(あて先)

福井県立美術館 実技講座係

〒910-0017 福井市文京3丁目16-1
TEL.0776(25)0452



往復はがきにご記入下さい

ハガキに記入する事項

- ① 講座種別と科目(例:専門講座、日本画)
- ② 氏名(ふりがな)、性別
- ③ 年齢
- ④ 住所、電話番号(連絡先)
- ⑤ 専門講座に限り、経験の程度を簡単に記入してください。(例:○年度基礎講座受講、○年、県・市美展入選、入賞)

- 講師急病等のやむを得ない都合により、日程が変更または代替講師になる場合があります。
- 材料は受講生実費負担とし、各自で用意していただきます。
- 作品や道具類はその都度お持ち帰りください。
- 研修棟を各グループで利用していただくこともできます。(有料:詳細は県立美術館までお問い合わせください。)

【作品展日程】

平成19年2月11日(日)～2月18日(日)

搬入:平成19年2月10日(土)

搬出:平成19年2月18日(日) 16:00～17:00

この講座は福井ライフ・アカデミー事業に提携しています。

福井県立美術館

友の会

平成18年度

会 員 募 集

「友の会」とは…

福井県立美術館友の会とは、美術に親しみ、美術鑑賞会などの催しものを通して親睦を深めようとする人たちの集まりです。

- 活動内容**
1. 友の会ニュース・美術館だよりの発行、配布
 2. 県外美術館見学会の実施（年2回）
 3. 実技講座・美術講座の開催
 4. 企画展鑑賞会の開催

- 特典**
1. 常設展はいつでも無料でご覧いただけます。
 2. 企画展無料入場券の配布があります。
 3. 県立美術館主催、共催の展覧会が2割引でご覧いただけます。
 4. ミュージアムグッズが2割引でお求めいただけます。

- 会費**
- | | |
|--------|---------|
| 【一般会員】 | 2,000円 |
| 【家族会員】 | 4,000円 |
| 【特別会員】 | 10,000円 |
- （年間）

会員期間 4月1日から翌年3月31日までの1年間

申込み方法 郵便振替、または申込み用紙に会費を添えて、美術館窓口で直接お申込み下さい。

【郵便振替でお申込みの場合】

振替用紙の通信欄に、

◎住所 ◎氏名 ◎生年月日 ◎電話番号 ◎職業
をご記入のうえ、次の口座に会費をお振込みください。
《口座番号 00700-8-41543》

【口座振替の場合】

「口座振替依頼書」を提出していただきます。

詳しくは、県立美術館友の会事務局までお問い合わせください。

【お問い合わせ】 福井県立美術館 友の会事務局 TEL.0776(25)0452

福井県立美術館 ボランティア会員募集

福井県立美術館ボランティアの会では、平成18年度の新規会員を募集しています。

美術に親しみながら、美術館の仕事を手伝ってみませんか？
ご興味のある方はお気軽にお問い合わせ下さい。

一緒に美術館のお仕事、
手伝ってみませんか？



入会資格

1. 美術に興味のある高校生以上の方
2. 月2回以上活動可能な方

活動内容

1. 来館者の方向けのインフォメーションサービス
2. テーマ展・展覧会場での監視や作品解説
3. 図書・美術関係資料などの整理

※ なお、入会にあたっては事前に、育成講座と体験学習を受けていただきます。

【お問い合わせ】 福井県立美術館 ボランティアの会事務局 TEL.0776(25)0452

お知らせ

<3~4月の休館日について>

展示替え、館内メンテナンス等のため、**3月6日(月)、13日(月)、31日(金)、4月1日(土)~5日(水)、17日(月)**は、休館とさせていただきますのでご了承ください。

schedule

貸館情報

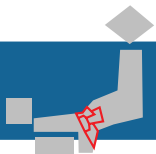
- 4/6~4/9 ● 第33回「失われゆく自然・人間」展
- 4/6~4/9 ● 第14回 グループS洋画展
- 4/6~4/9 ● 第4回 グループ彩作品展
- 4/12~4/16 ● 第24究展(絵画グループ展)
- 4/12~4/16 ● 最近見た私の景色
- 4/13~4/16 ● 第21回 シルバー福井展
- 4/20~4/23 ● 「伝えたくて」野理恵展
- 4/26~4/30 ● 池美会絵画展

4/6~4/30

広報板

日本まんなか共和国

日本の東西文化の境界にある四県(岐阜、三重、滋賀、福井)が連携し、より効果的な文化活動を行うため、先進的な「日本まんなか共和国」の創造を目指しています。



滋賀県立近代美術館

大津市瀬田南大萱町1740-1 TEL:077-543-2111

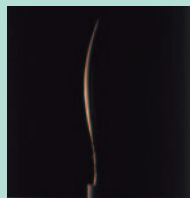
ソフトパッド+滋賀県立近代美術館
sensibilia
センシビリシア
~所蔵品によるある試み~
2月11日(土)~4月2日(日)



本展は、滋賀県立近代美術館の現代美術コレクションと、関西を中心に国際的に活動しているアーティスト・ユニット softpad(ソフトパッド)とのコラボレーションによる展覧会です。映像、デザイン、サウンドなど、様々な領域で柔軟な活動を見せるsoftpadが、印刷物から展示構成に至るまで、展覧会というひとつの知覚体験をトータルに演出します。



ドナルド・ジャッド「無題」(部分)
滋賀県立近代美術館蔵



コンスタンティン・ブランクーシ
「空間の鳥」 滋賀県立近代美術館蔵

一般 800円(600円)/高大学生 600円(400円)/小中学生 400円(300円)
※ 括弧内は、前売りおよび 20名以上の団体料金

岐阜県美術館

岐阜市宇佐4-1-22 TEL:058-271-1313

高橋由一から山本芳翠、
熊谷守一まで
日本近代洋画への道
山岡コレクションを中心に
1月13日(金)~3月12日(日)



高橋由一「鮭図」
明治12-13年
笠間日動美術館蔵
(山岡コレクション)蔵

この展覧会では、明治以後の日本における洋画の変遷を、初期洋画の優れたコレクションとされる「山岡コレクション(笠間日動美術館)」の作品を中心に紹介します。

山岡コレクションとは、実業家・山岡孫吉(やまおかまごさち)氏により蒐集された個人コレクションだったもので、長い間、一部の研究者のみが知る幻のコレクションとされてきたものです。近年、笠間日動美術館に一括寄贈され、一般公開が始まった、今美術界で話題のコレクションです。

会場では、明治から大正にかけて活躍した著名な画家50名による初期洋画の秀作135点をご覧いただくことができます。美術の教科書でも、よく紹介される「鮭図」を描いた高橋由一(たかはしゆいち)から黒田清輝(くろだせいき)、そして藤島武二(ふじしまたけじ)、青木繁(あおきしげる)までの時代の作品をご紹介します。

またこの展覧会では、岐阜県美術館が所蔵する作品の中からも、山本芳翠(やまもとほうすい)の「裸婦」や新たに収蔵した熊谷守一(くまがいもりかず)の「蠟燭」など、明治から大正にかけての名品を展示・公開いたします。



熊谷守一「蠟燭」明治42年
岐阜県美術館蔵

一般 800円(700円)/大学生 600円(500円)/高校生以下 無料
※ 括弧内は、20名以上の団体料金。

三重県立美術館

津市大谷町11 TEL:059-227-2100

三重の子供たち展
1月22日(日)~2月26日(日)

三重県内各地の3歳児から中学生までの子どもたちの造形作品を展示し、三重の子どもたちが日常行っている創作活動を紹介しています。

子どもひろば

- 【日時】毎週土曜日 午後2時から(3時30分頃まで)
- 【対象】幼稚園・保育所の年中児から小学6年生までの子どもたち
- 【内容】美術館の施設探検、作品鑑賞、創作活動など
- 【募集人数】各回20名まで。定員になり次第締切となります。
- 【参加費】無料です。
- 【申込】当日エントランスホールの受付にて行います。

同時開催(企画展示室第4室)

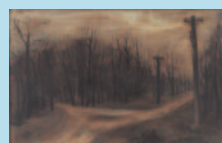
特集展示:元永定正の作品

観覧
無料

三重県立美術館 コレクション展
3月4日(土)~4月2日(日)

三重県立美術館が収集してきた収蔵作品の中から、4室を4つのテーマに分けて紹介します。

- 第1室:三重県立美術館の西洋美術のコレクション
- 第2室:ゴヤの《闘牛技》
- 第3室:野田英夫とアメリカに渡った画家たち
- 第4室:元永定正の作品



野田英夫「風景」1936 油彩・ボード 30×45.5cm

一般 500円(300円)/高・大学生 400円(200円)/小中学生 無料
※ 括弧内は、20名以上の団体料金。